

沖縄関係 69 億増 1735 億円

提供施設整備など押し上げ

防衛省

防衛省の 2016 年度予算案の沖縄関係経費は歳出

ベースで 15 年度当初比約 69 億円 (4.1%) 増の 1735 億 5700 万円となった。普天間飛行場の改修を含む提供施設整備費、基地周辺対策経費などが全体の金額を押し上げた。

提供施設整備費は前年比 8 億 3000 万円増 (16.4%) の約 59 億円で、11 施設 27 事業を実施する。普天間飛行場の雨水排水施設の整備で 13 億 3200 万円、ト

リイ通信施設の宿舍改築に 2300 万円、北部訓練場の宿舍改築に 1100 万円などが計上されている。

基地周辺対策経費のうち、住宅防音工事で 47 億 5000 万円が計上され、普天間飛行場や嘉手納基地周辺の対象世帯に実施する。補償費は高濃度汚染のドラム缶が見つかった沖縄市のサツカー場の原状回復費として 5 億円、14 年 6 月に返還されたキャンプ・ハンセンの一部の土壤汚染調査などに 7300 万円。軍用地料は単価が 1.2% 上がり、12 億円増の 990 億 2300

万円となった。

嘉手納より南の米軍施設

2016 年度沖縄関係経費 (単位: 百万円、%、▲はマイナス)

事項	2015 年度 予算額	2016 年度 予算案	対前年度 増減額	対前年度 伸率
1. 基地周辺対策経費	<17,164>	<18,282>	<1,118>	<6.5>
住宅防音	15,780	16,267	487	3.1
周辺環境整備	<5,053>	<4,749>	<▲304>	<▲6.0>
	4,996	4,750	▲246	▲4.9
	<12,110>	<13,533>	<1,422>	<11.7>
	10,784	11,517	733	6.8
2. 補償経費等	<100,644>	<102,764>	<2,120>	<2.1>
(1) 施設の借料	100,351	102,838	2,486	2.5
土地等の借料	98,602	100,515	1,913	1.9
その他(道路使用等)	97,823	99,023	1,200	1.2
(2) 漁業補償	779	1,492	713	91.6
(3) その他の補償等	957	966	9	1.0
	<1,085>	<1,283>	<198>	<18.2>
	793	1,357	564	71.2
3. 基地従業員関係	45,374	46,651	1,277	2.8
4. 提供施設の整備	<7,041>	<8,523>	<1,482>	<21.0>
	5,072	5,901	830	16.4
5. 提供施設の移設	<2,390>	<35>	<▲2,355>	<▲98.5>
	76	1,900	1,824	25.1 倍
合計	<172,612>	<176,255>	<3,642>	<2.1>
	166,653	173,557	6,904	4.1

注: 1 上段<>内は、契約ベースである
2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある

返還・統合計画にかかる予算は 95 億 1400 万円、西普天間住宅地区の物件撤去費に約 52 億円、嘉手納弾薬庫知花地区への倉庫移転費などに 22 億 1900 万円を計上した。普天間飛行場の東側一部返還に関連し、宜野湾市道 11 号整備に伴う

予算は米軍巡回道路の移設工事費として約 19 億円、国道 58 号の拡幅に伴う牧港補給地区の一部返還の予算は 8400 万円となった。

米軍再編交付金は 40 億 2300 万円。日米特別行動委員会(SACO)関連経費は前年度比 4 億 2100 万

円増の 14 億 8800 万円だった。